



# 火災予防ニュース

第21号 令和3年2月1日 苫小牧市消防本部予防室発行

## ⚠️ 消火ポンプ凍結にご注意を！ ⚠️

寒い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。例年、この時期には、市内で消防用設備のスプリンクラー設備や屋内外消火栓設備のポンプ・配管が凍結し、破損する案件があります。本年も、市内において屋内消火栓ポンプの凍結がしてしまったとの情報が入っています。

凍結防止のため、ポンプ室のパネルヒーター等により確実に暖房が入り、切断されることのないようにご注意願います。



## 都道府県別出火率北海道は 17 位



**ストーブを  
使う時には  
火災に注意**

出火率（人口1万人当たりの出火件数）は、全国平均で3.0件/万人のところ、北海道は3.6件/万人と、全国平均を上回る結果となっております。（令和2年度版 消防白書）

建物火災は冬季から春季にかけて多く発生しています。暖房機器の使用など火気を扱うことの増える当市においても、特に注意が必要な時季です。市内でも火災の多くは、可燃物への着火が多いため、ストーブの上部などに洗濯物をかけない、周囲に燃えやすいものを置かないなど、今一度、火気の手扱い方を見直しましょう！

## 住宅用火災警報器は正常に作動していますか？

- 住宅用火災警報器は設置から10年が使用期限の目安になります。
- 定期的に作動確認を行い異常の有無を確認してください。
- 電池切れや故障の場合はすぐに新品に交換してください。

10年たったら、  
とりカエル。

